

The Second Japanese Conference on Medical Checkup of the Brain

第 2 回
日本脳ドック研究会
プログラム・抄録集

会 期

平成5年5月8日

会 場

仙台市シルバーセンター
東北電子計算機専門学校

会長 吉 本 高 志
(東北大学脳研脳神経外科)

1993 仙台

第 2 回 日本脳ドック研究会 プログラム・抄録集

会 期

平成5年5月8日

会 場

仙台市シルバーセンター
東北電子計算機専門学校

会 長 吉 本 高 志

(東北大学脳研脳神経外科)

世話人

篠原幸人, 高倉公朋, 赫 彰郎, 戸谷重雄, 端 和夫,
早川 徹, 福井仁士, 山口武典, 吉本高志

幹 事

中川俊男, 藤原 悟

ご 挨拶

「本研究会は、脳卒中や痴呆などの、社会的に深刻な関心事である疾患を積極的に予防するという、将来の大きな課題解決への第1歩であるかも知れません。」第1回、脳の間ドック研究会が、端 和夫会長の御挨拶のもと、札幌市で行われてから早1年が経ちました。その間、名前も日本脳ドック研究会と改められ、研究会会員数も600名に及ぼうとしております。また昨今の様々な報道機関の対応などを見ても、「脳ドック」がホットな話題であることは間違いありません。

第2回の本会に対し、一般演題として70題以上の御応募頂きました。内容は多岐にわたっておりますが、いずれも脳ドックに直接関係した労作と思われました。御応募頂いた中より2つのシンポジウムを企画致しました。1つはMRAについて、もう1つは脳ドック受診者のその後、であります。いずれも重要な点であり、集中的に討議して頂くことになりました。

また、特別講演として東北大学公衆衛生学教授・久道 茂先生に「検（健）診のテクノロジーアセスメント」、浜松医療センター副院長・金子満雄先生に「神経心理機能テストを用いた脳検診の実際」、島根医科大学第3内科講師・小林祥泰先生に「無症候性脳梗塞、その後」をお願い致しました。いずれもその道の大家であり、素晴らしいお話しを頂けるものと思います。さらに、日本核磁気共鳴医学会のMRA委員会にお願いし、同委員会が昨年施行した脳ドックについての全国アンケートの結果を、委員長である中津川市民病院副院長・古瀬和寛先生にお話しして頂くことになりました。

また、本会終了後、同一会場でサテライトセミナーとして、「最新MRA情報」の展示と発表を企画致しました。脳ドックは、いろいろの分野の人々の協力が大切だと思います。多方面からの御協力を心から感謝致します。

「脳ドック」は、いまだその途についたばかりの学問であり、本研究会の果す役割は極めて大きいものと考えます。5月の仙台は青葉の美しい季節です。皆様が何等かの収穫を持って、現場にお帰りになられますことを祈念致します。

第2回日本脳ドック研究会

会 長 吉 本 高 志

ご 案 内

1. 会期 平成5年5月8日（土） 午前9：00～午後5：30

2. 会場

(1) A, B会場の場所と内容は次の通りです。

A会場 仙台市シルバーセンター

1F交流ホール

スライド、特別講演、特別報告、

シンポジウムII、閉会后MRメーカー発表

B会場 東北電子計算機専門学校（シルバーセンター隣）

3F視聴覚ホール

スライド、ビデオ、シンポジウムI、

特別講演などA会場のテレビ放映

(2) A会場の午後0：50から3：00までの「特別講演」、[特別報告]と、閉会後の午後5：00からの「MRメーカー6社による最新のMRAの情報」はテレビを通じてB会場でもご覧になれますが、B会場からA会場への質問はできません。

(3) A会場入口は1階と2階にありますが、演者および座長は必ず1階入口よりご入場下さい。

(4) A会場は約300席と狭いため、席をつめてお座り下さい。

3. 受付

(1) 受付は参会受付、懇親会受付、観光案内（受付）、宿泊・交通案内、新入会受付、昼食受付が仙台市シルバーセンター1Fアトリウムにて午前8：30より開かれます。

(2) 入会希望の方は新入会受付にて所定の手続きをおとりください（入会金2,000）。当日のみ参会ご希望の方は下記の参会手続きをおとり下さい。

(3) 参会費納入済の方は、プログラムにとじ込んである参会者カードに

氏名、所属をご記入の上、郵送済みのバウチャー（チケット）とともに提出しネームカードをお受け取り下さい。参会費未納の方は、参会者カードにご記入の上、参会費7,000円とともに受付に提出し、ネームカードをお受け取り下さい。ネームカードのない方の入場はお断り致します。

- (4) プログラムは各自ご持参下さい。当日ご希望の方には実費（1部1,000円）で頒布しますが、部数に限りがありますのでご了承下さい。
- (5) なお、本会は日本脳神経外科学会生涯教育クレジットの対象となっておりますので、脳神経外科専門医の方は仙台市シルバーセンター内の専門医登録受付にて登録して下さい。

4. 発表

- (1) 発表時間は一般演題が講演5分、討論2分（討論中のスライドは使用不可）、シンポジウムは講演が8分、各々の演者の発表が終了した後、30分の討論（スライド使用不可）を予定しています。
- (2) スライドはA、B各会場とも35mmサイズのプロジェクターを1面用意します。演者は発表30分前までに各会場入口付近にあるスライド受付で試写を済ませて、提出して下さい。スライド枚数に制限はありません。
- (3) ビデオはB会場での演題のみ使用可能です。テープサイズはVHSに限ります。必ず頭出しをして提出して下さい。
- (4) 発表終了1分前に青ランプ、終了時間に赤ランプの点灯とブザーが鳴ります。発表者は時間を厳守してください。
- (5) 発表終了後スライドを速やかに会場返却係よりお受け取り下さい。

5. 昼食

昼食代を納入済の方はバウチャー（チケット）をご持参の上、東北電子計算機専門学校2F、食堂入口受付にご提出下さい。昼食代未納の方で昼食ご希望の方は、昼食受付（仙台市シルバーセンター1F アトリウム）で昼食券（1,030円）をご購入下さい。なお、会場周辺には適

当なレストランはほとんどありませんのでご注意ください。

6. クロークとコーヒーサービス（無料）

仙台市シルバーセンター6F，第2研修室に用意致しますのでご利用下さい。

7. 宿泊及び交通案内

仙台市シルバーセンター1F アトリウムに案内がございます。

8. 懇親会

平成5年5月8日午後7：30より，会場から徒歩7分の江陽グランドホテル5F 鳳凰の間にて行ないます。会場より係の者の誘導に従って下さい。予め、懇親会費を納入の方はバウチャー（チケット）をご持参下さい。未納の方は仙台市シルバーセンター1F アトリウムの懇親会受付にてお申し込み下さい（会費3,000円）。

9. 観光

費用納入済の方は平成5年5月9日 午前8：00，ホテルメトロポリタン（JR仙台駅ターミナルホテル）前にバスを用意しますので，チケットをご持参の上，目的地（コース）を間違わずにご乗車下さい。費用未納で，かつ，観光ご希望の方は平成5年5月8日午後3時まで仙台市シルバーセンター1F アトリウム，観光案内までお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。

10. 第2会日本脳ドック研究会事務局

会期中 仙台市シルバーセンター Tel. 030-12-71373

東北電子計算機専門学校 Tel. 030-12-71374

会期外 財団法人広南会 広南病院 脳神経外科

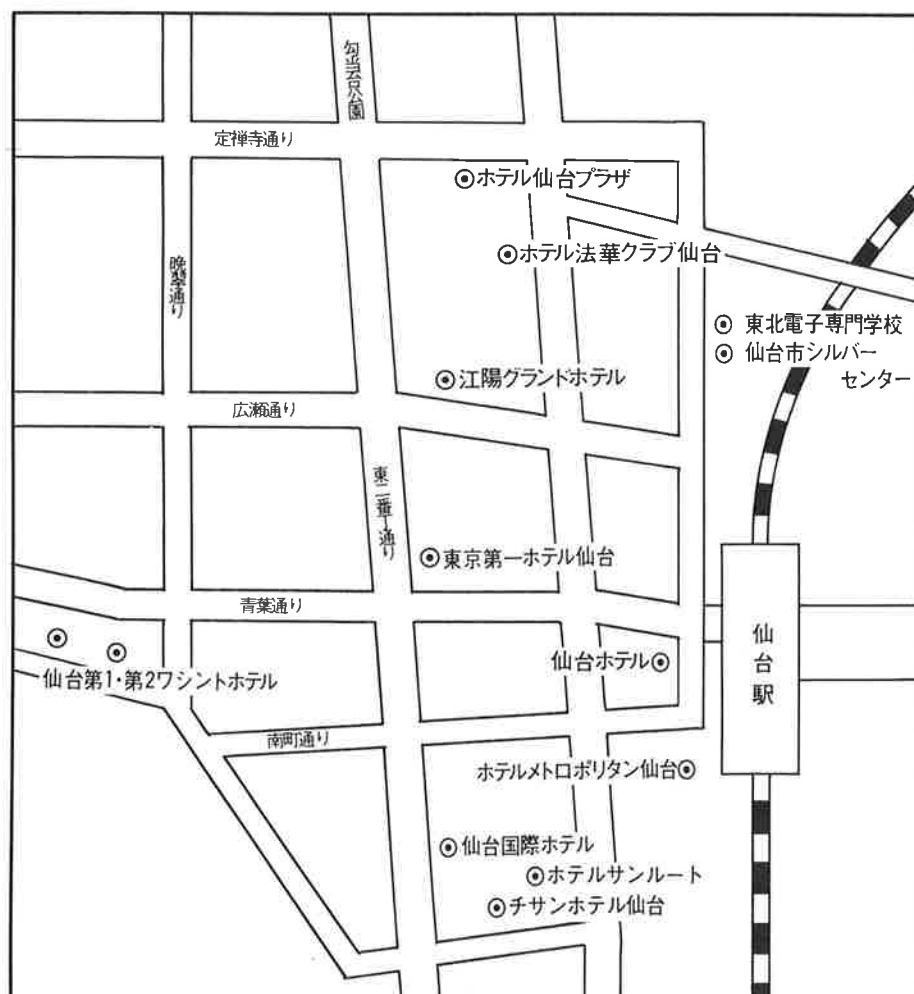
Tel. 022-248-2131 内線451

FAX 022-248-2319

研究会実行委員

桜井芳明	小沼武英	片倉隆一
甲州啓次	溝井和夫	藤原悟
亀山元信	高橋明	今泉茂樹
鈴木倫保	富永悌二	白根礼造
村石健治	岩片秀夫	鈴木よし子
伊藤千賀子	伊藤知江美	織田裕子
佐々木千代	佐々木香織	

会場案内図



仙台市シルバーセンター

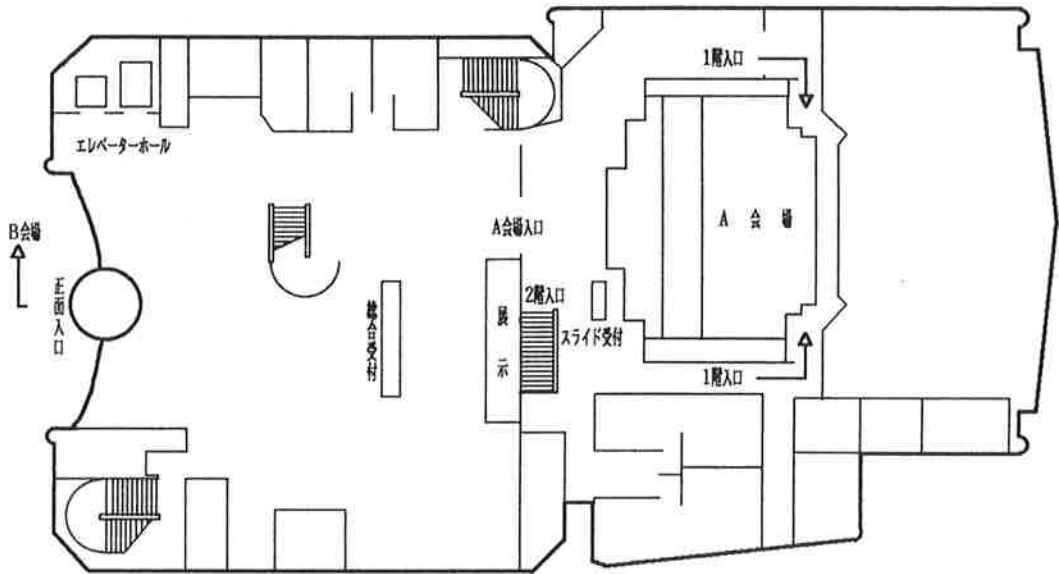
〒980 仙台市青葉区花京院一丁目3番2号

東北電子計算機専門学校

〒980 仙台市青葉区花京院一丁目3番1号

- J R 仙台駅から徒歩5分
- 地下鉄仙台駅または広瀬通駅から徒歩7分

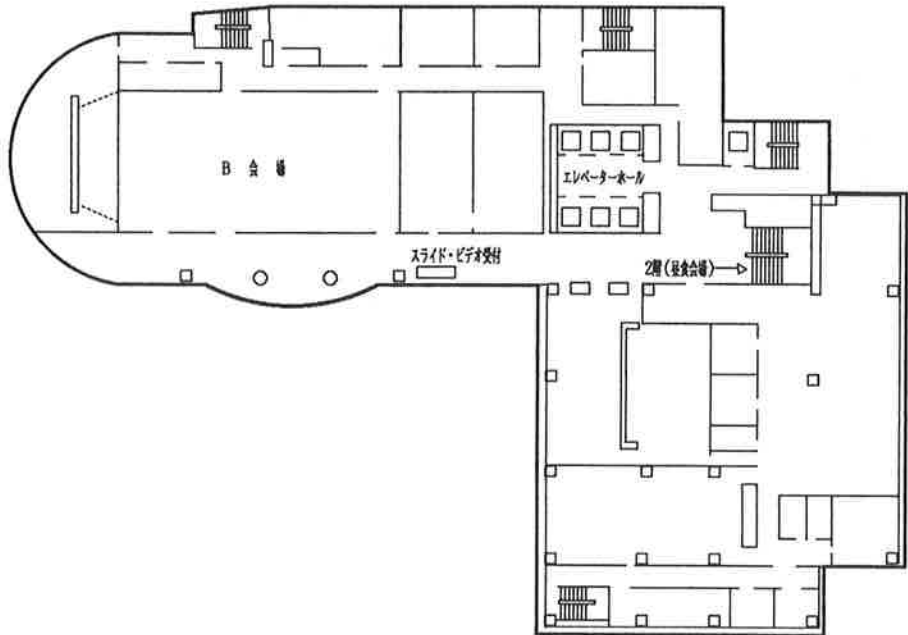
仙台市シルバーセンター会場見取図（A会場）



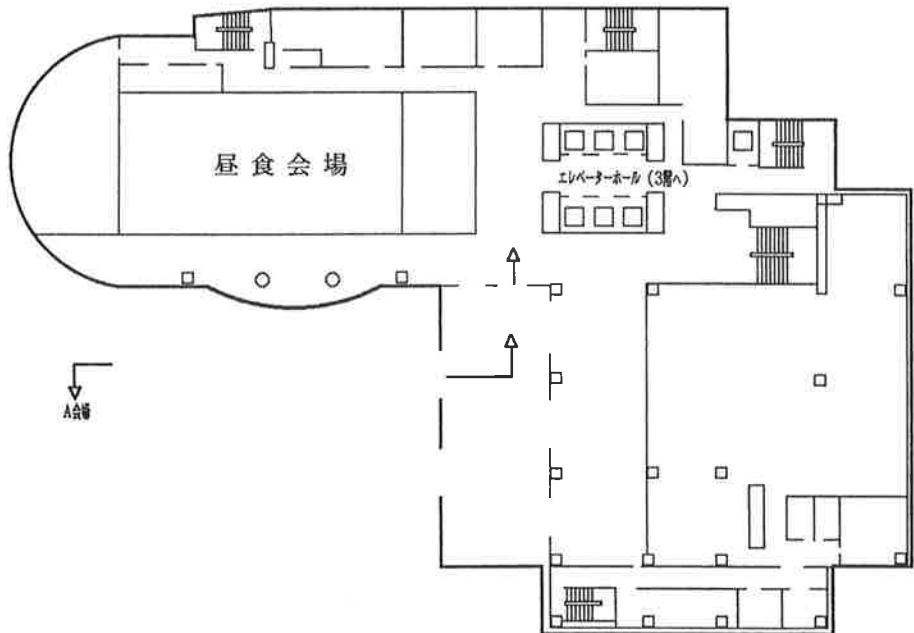
総合受付	1階	ロビー
A会場	1階	交流ホール
クローク	6階	第2研修室
休憩室	6階	第2研修室
研究会本部	5階	会議室

東北電子計算機専門学校会場見取図（B会場）

3 F



2 F



東北電子計算機専門学校

B会場 3階 視聴覚ホール
 昼食会場 2階 学生食堂

第2回 日本脳ドック

会場 時間	9 : 00 5	10 : 00	11 : 00 55	12 : 00	13 : 00 45	25	
『A』 シルバー センター	受付	MR アンジオ グラフィー 〈I〉 A-1~8 8題	無症候性 脳血管疾患 〈I〉 A-9~16 8題	脳ドック の経験 A-17~20 4題 無症候性 脳腫瘍、他 A-21~25 5題	昼休み	世話 人 会 報 告 特 別 講 演 〈I〉	特 別 講 演 〈II〉
座長		斎藤	戸谷 5 40	早川		吉本	篠原
『B』 電子計算機 専門学校		検査、 スクリー ニング B-1~8 8題	MR アンジオ グラフィー 〈II〉 B-9 ~13 5題	シンポジウム I MRアンジオ グラフィー S I-1~6 6題	昼休み		T V
座長		松本	上村	赫・宮坂			

研究会日程表

4:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00	
35		10		10		30				30	
特 別 講 演 〈Ⅲ〉	特 別 報 告	休 憩	高次脳機能 検査 A-26~28 3題 無症候性 脳血管疾患 〈Ⅱ〉 A-29~33 5題	シンポジウムⅡ 受診者のその後 と調査計画 SⅡ-1~6 6題		閉 会 の あ い さ つ	サテライト セミナー 「最新MRA情報」 MRメーカー 6社発表	移 動	懇 親 会		
東儀	太田		福井 55	端・山口(武) 30			中川・藤原				
放 映			危険 因子 〈Ⅰ〉 B-14 ~19 6題	危険 因子 〈Ⅱ〉 B-20 ~24 5題	無症候性 脳血管疾患 〈Ⅲ〉 B-25~32 8題			移 動	懇 親 会		
			佐々木	高久	朝倉						

第2回 日本脳ドック研究会

平成5年5月8日(土)

A 会 場

開会の辞 (9:00~9:05)

会長 吉本高志

MRアンジオグラフィー(1) (9:05~10:00)

座長 齋藤 勇

- A-1. 脳ドックで見つかるモヤモヤ病について
京都南病院 脳神経外科 幸地延夫
- A-2. MRAによるモヤモヤ病家系のスクリーニング
北海道大学 脳神経外科 宝金清博
- A-3. MRAのスクリーニングとしての有用性 特に未破裂脳動脈瘤について
奈良県立医科大学 脳神経外科 宮本和典
- A-4. クモ膜下出血における低磁場MR angiographyの検討 —脳動脈瘤をどの程度発見できるか?—
厚地脳神経外科病院 山神雅之
- A-5. MRAngiographyによる脳動脈瘤の診断II
戸田中央総合病院 脳神経外科 竹山英二
- A-6. 脳動脈瘤手術におけるMRAの有用性について
中村記念病院 脳神経外科 瀬尾善宜
- A-7. 脳ドックにおける脳動脈瘤の検出とその治療成績
宇部興産中央病院 脳神経外科 黒川 泰
- A-8. MRAによる未破裂脳動脈瘤の診断 —「脳ドック」において、MRAはIADSAに代わることができるか—
新さっぽろ脳神経外科病院 中川俊男

- A-9. 虚血性心疾患患者における脳ドックの必要性について
大原医療センター 脳神経外科 関 博文
- A-10. 脳ドック受診者における散在性白質病変について
つくば双愛病院 神経内科 藤田恒夫
- A-11. 脳ドックにおける無症候性脳虚血性病変 ~MRIとT₂値測定
について~
岐阜県立下呂温泉病院 脳神経外科 酒井秀樹
- A-12. 無症候性脳梗塞症と眼底検査の関連性
医療法人 全仁会 倉敷平成病院 脳神経外科 佐藤保之
- A-13. 無症候性脳梗塞の臨床的意義と経時的変化
西宮協立脳神経外科病院 脳神経外科 岩田 隆
- A-14. 無症候性脳梗塞例の検討
横浜新都市脳神経外科病院 脳神経外科 水巻 康
- A-15. 無症候性脳梗塞におけるMRIおよびMRI ANGIOGRAPHY:
Part I. 天幕上での検討
日本医科大学附属多摩永山病院 脳神経外科 野手洋治
- A-16. 無症候性脳梗塞におけるMRIおよびMRI ANGIOGRAPHY:
Part II. 天幕下での検討
日本医科大学附属多摩永山病院 脳神経外科 野手洋治

- A-17. 地域住民健診の一部として行なった脳ドック43例の分析
財)脳神経疾患研究所 附属南東北病院 脳神経外科 小泉仁一
- A-18. 当院における脳ドック システム紹介と経験一
聖隷三方原病院 脳神経外科 杉浦康仁
- A-19. 脳ドックにおける無自覚症状例についての検討

- 黒沢病院 脳神経外科 岡田慶一
- A-20. 短時間脳ドックにおけるMRAの問題点
医療法人 全仁会 倉敷平成病院 脳神経外科 佐藤保之
- A-21. 大脳半球small glioma 5例のMRI像と悪性度の検討
徳島大学 脳神経外科 関貫聖二
- A-22. 無症候性脳腫瘍85例の検討
慶応義塾大学 脳神経外科 上口裕之
- A-23. 無症候性髄膜腫の検討
神戸大学 脳神経外科 朝田雅博
- A-24. 無症候性脳疾患に対するGamma Knife治療（特に脳ドック受診例について）
藤枝平成記念病院 GAMMA UNIT CENTER 脳神経外科 森木章人
- A-25. 頸椎後縦靭帯骨化症における外傷の予後に対する影響と手術時機について
愛知医科大学 脳神経外科 中川 洋

昼食 (12:00~12:45)

世話人会報告 (12:45~12:50)

吉本高志

特別講演 (1) (12:50~13:25)

座長 吉本高志

健(検)診のテクノロジーアセスメント

東北大学医学部公衆衛生学 教授 久道 茂 先生

特別講演 (II) (13:25~14:00) 座長 篠原幸人
神経心理機能テストを用いた脳検診の実際
浜松医療センター 副院長 金子満雄 先生

特別講演 (III) (14:00~14:35) 座長 東儀英夫
無症候性脳梗塞, その後
島根医科大学 第3内科 講師 小林祥泰 先生

特別報告 (14:35~15:00) 座長 太田富雄
全国各大学ならびに脳ドック実施医療機関アンケート調査結果について
中津川市民病院 副院長 古瀬和寛 先生

休憩 (15:00~15:10)

高次脳機能検査, 無症候性脳血管疾患 (II) (15:10~16:10)
座長 福井仁士

- A-26. 脳ドックにおける高次脳機能検査の役割
浜松医科大学 脳神経外科 今村陽子
- A-27. 脳ドック検査における高次脳機能検査の意義
岡山旭東病院 脳神経外科 土井章弘
- A-28. パーソナルコンピュータを用いた神経処理速度評価の試み
井野口病院 脳神経外科 丸石正治
- A-29. 脳動脈瘤の頻度と局在 -350剖検脳での検討
金沢脳神経外科病院 山本信孝
- A-30. 未破裂脳動脈瘤への対応
岡山旭東病院 脳神経外科 土井章弘
- A-31. 「脳ドック」におけるインフォームド・コンセント -未破裂脳動

脈瘤における問題点一

新さっぽろ脳神経外科病院 中川俊男

A-32. 未破裂動脈瘤の診断に於る諸検査法の比較検討

十和田市立中央病院 脳神経外科 畑中光昭

A-33. 偶然発見された未破裂動脈瘤の治療成績

国立仙台病院 脳神経外科 荒井啓晶

シンポジウムII

座長 端 和夫 山口武典

受診者のその後と調査計画 (16:10~17:30)

S II-1. 脳ドック正常判定群のその後

広南病院 脳神経外科 藤原 悟

S II-2. 脳ドック受診者のその後

寺元記念病院 脳神経外科 伊藤 守

S II-3. 脳ドック受診者の受診後の動向について

熊本整形外科病院 弥富親秀

S II-4. [脳ドック]受診者の追跡調査 —アンケート調査を中心に—

新さっぽろ脳神経外科病院 中川俊男

S II-5. 脳ドック受診者のその後

杏林大学 脳神経外科 塩川芳昭

S II-6. 脳ドックで発見される各種脳疾患の疫学的研究 —調査計画と参加への呼び掛け—

札幌医科大学 脳神経外科 端 和夫

閉会の辞 (17:30~17:35)

会長 吉本高志

B 会 場

検査、スクリーニング (9:05~10:05)

座長 松本圭蔵

- B-1. 中大脳動脈血流速度と総頸動脈血流量測定の臨床的有用性
聖マリアンナ医科大学 第2内科 斎藤加代子
- B-2. I V-D S Aの有用性と限界
中央群馬脳神経外科病院 中島英雄
- B-3. 冠動脈造影時の頭部Intra-Arterial Digital Subtraction Angiography
による未破裂脳動脈瘤のスクリーニングを行なった症例での3~4
年後のFollow Up Study
春日井市民病院 脳神経外科 岩田欣造
- B-4. クモ膜下出血が否定されたthunderclap headache患者における脳
血管撮影の必要性 —350例の検討—
東松山市立市民病院 脳神経外科 竹内東太郎
- B-5. C Tにて見逃しやすい無症候性未破裂脳動脈瘤のC T診断の
point
津生協病院 神経内科 笠間 睦
- B-6. 脳ドックにおける3D-C T Angiographyの応用
岐阜県立下呂温泉病院 脳神経外科 岩田辰夫
- B-7. 頸部頸動脈内膜剥離術の術後経時的検査としての頸動脈C Tの有
用性
十和田市立中央病院 脳神経外科 畑中光昭
- B-8. モービルMRIによる脳・神経疾患巡回検診
中村記念病院 脳神経外科 武田利兵衛

MRアンジオグラフィー (II) (10:05~10:40)

座長 上村和夫

- B-9. 脳ドックにおける高分解能MRAの検討

独協医科大学 脳神経外科 米山博史

B-10. 脳ドックにおける最適なMR angiographyの方法について

富士宮市立病院 脳神経外科 古屋好美

B-11. 少量のGd-DTPAを使用したMR angiographyの有用性

明石市立市民病院 脳神経外科 橋本直哉

B-12. MR angiographyにおけるnitroglycerin併用の有用性

明石市立市民病院 放射線科 大野浩司

B-13. 脳ドックにおけるMR Angiographyと脳室周囲高信号域(PVH), lacunaの関連

仙台星陵クリニック 松井博滋

シンポジウムI (10:40~12:00)

座長 赫 彰郎 宮坂和夫

MRアンジオグラフィー

S I-1. MRAによる閉塞性血管病変の外来スクリーニング ~その有用性, 問題点, 将来的展望について~

釧路労災病院 脳神経外科 原田達男

S I-2. MRAで診断された無症候性中大脳動脈閉塞症

那須脳神経外科病院 橋爪和弘

S I-3. Head coilによる頸部血管病変の評価

厚南セントヒル病院 脳神経外科 秋村龍夫

S I-4. 3D-TOF MRAによる脳動脈瘤・脳血管狭窄性病変のスクリーニング

千葉大学医学部 脳神経外科 久保田基夫

S I-5. MRアンジオグラフィーによる脳動脈瘤診断の現況

釧路脳神経外科病院 滝上真良

S I-6. MRアンジオグラフィーにて追跡し得た微小未破裂脳動脈瘤の検討

蘇生会総合病院 脳神経外科 小島正行

昼食 (12:00~12:45)

テレビ放映 (A会場) (12:45~15:00)

危険因子 (I) (15:10~15:55)

座長 佐々木英忠

- B-14. 脳血管障害危険因子の白質点状病変 (leuko-araiosis) に与える影響について
千葉大学医学部 脳神経外科 久保田基夫
- B-15. 正常人に於ける無症候性皮質下病変 年齢および血圧との関連
小牧市民病院 脳神経外科 雄山博文
- B-16. 無症候性脳梗塞の危険因子について
岡山旭東病院 脳神経外科 吉岡純二
- B-17. 無症候性脳梗塞の脳内分布と危険因子の関係
藤枝平成記念病院 BRAIN SCREENING CENTER 脳神経外科 平井達夫
- B-18. 脳ドックにて発見された無症候性脳梗塞における随時血圧と血圧日内変動
財) 香川成人医学研究所 長尾修自
- B-19. 無症候性頸部内頸動脈狭窄症患者における危険因子の検討
徳島大学 脳神経外科 阿川昌仁

危険因子 (II) (15:55~16:30)

座長 高久 晃

- B-20. 町立浜岡総合病院における脳虚血反復症例の検討
町立浜岡総合病院 脳神経外科 尾内一如
- B-21. 無症候性脳梗塞におけるLipoprotein (a)測定の意義
金沢病院 脳神経外科 太田誠志
- B-22. 脳卒中の予防における血清アポ蛋白測定の有用性の検討
大分市医師会立アルメイダ病院 脳神経外科 後藤信一郎
- B-23. 脳内出血の危険因子としての肝機能障害についての検討

- B-24. 若年者脳動脈瘤症例のRisk Factors及びその臨床的検討
神戸大学 脳神経外科 藤田勝三

無症候性脳血管疾患 (Ⅲ) (16:30~17:30) 座長 朝倉哲彦

- B-25. 田尻町高齢者の脳検診 一第1報一
東北大学医学部老年内科 目黒謙一
- B-26. 無症候性脳血管障害の発症頻度の分析
国立療養所宮城病院 神経内科 成川弘治
- B-27. 脳ドックで否定された後、クモ膜下出血で発症した脳動脈瘤の1例
秋田県立脳血管研究センター 脳神経外科 波出石弘
- B-28. 脳動脈瘤根治術後、他部位に動脈瘤の新生、増大を認めた2例
由利組合総合病院 脳神経外科 須田良孝
- B-29. 未破裂脳動脈瘤の手術の得失の臨床判断分析
兵庫県立姫路循環器病センター 脳神経外科 藤田稠清
- B-30. 脳動静脈奇形の検診について 一学童検診の可能性一
ナーブ・ケア・システム 湘南鎌倉病院 脳神経外科 石渡祐介
- B-31. 症候性および無症候性A O V M病変のMRI所見
小牧市民病院 脳神経外科 木田義久
- B-32. SDS高得点者(うつ傾向)と脳ドック所見
寺元記念病院 脳神経外科 伊藤 守